

# 辻邦生——絵画、そして〈永遠〉

令和5年(2023)10月29日(日) 13時30分—17時00分(13時開場)

会場—学習院創立百周年記念会館正堂 「入場無料」



●講演会[第1部] 13時30分—15時00分

辻邦生——絵画、そして〈永遠〉

講師：山本容子氏(銅版画家)

●朗読劇[第2部] 15時30分—17時00分

第8回〈声でつむぐ辻文学〉：『春の戴冠』(後篇)

台本構成+朗読指導—岡部泰子氏 演出—漆崎隆氏

朗読者—遠藤弥宙氏(早稲田大学4年) 大川あんな氏(学習院大学1年) 末原立貴氏(慶應義塾大学2年)

田口雄海氏(都留文科大学3年) 新矢萌香氏(東京女子大学3年) 早野沙都氏(相模女子大学3年)

作品解説—中条省平氏(学習院大学文学部フランス語圏文化学科教授・辻邦生生誕100年記念事業組織委員長)

光の大地-2  
ソフトグランド・エッチング、手彩色 26×21cm  
[1995]

当日、1階正堂ホワイエにて  
ミニ展示および書籍販売コーナーを設置

このたび当館では、10月29日(日)に第98回学習院大学史料館講座「辻邦生——絵画、そして〈永遠〉」を開催する運びとなりました。本講座は講演会と朗読劇の2部制を予定しております。第1部の講演会では、銅版画家の山本容子氏にご登壇いただき、新聞連載小説『光の大地』(毎日新聞社刊)の挿画を手がけられた際の小説家と画家とのコラボレーションについてのお話を伺います。また、第2部の朗読劇では、大学生の若者たちが、昨年引き続き辻の代表作の一つである『春の戴冠』の後篇をみずみずしい感性で表現致します。楽しみにご鑑賞いただければ幸いです。

●講演会 [第1部] 13時30分—15時00分  
辻邦生——絵画、そして〈永遠〉

講師： **山本容子** 氏(銅版画家)

●朗読劇 [第2部] 15時30分—17時00分  
第8回〈声でつむぐ辻文学〉：『春の戴冠』(後篇)

台本構成+朗読指導—岡部泰子氏 演出—漆崎隆氏

朗読者—遠藤弥宙氏(早稲田大学4年) 大川あんな氏(学習院大学1年) 末原立貴氏(慶應義塾大学2年)  
田口雄海氏(都留文科大学3年) 新矢萌香氏(東京女子大学3年) 早野沙都氏(相模女子大学3年)

作品解説—中条省平氏(学習院大学文学部フランス語圏文化学科教授・辻邦生生誕100年記念事業組織委員長)

山本容子

Yoko Yamamoto

銅版画家



公式ウェブサイト：  
山本容子美術館  
LUCAS MUSEUM  
<http://www.lucasmuseum.net>

1952年生まれ。京都市立芸術大学西洋画専攻科修了。

都会的で軽快洒脱な色彩で、独自の銅版画の世界を確立。絵画に音楽や詩を融合させるジャンルを超えたコラボレーションを展開し、数多くの書籍の装幀、挿画をてがける。

1990年代半ばから各地でパブリックアートの制作を開始し、さいたま市の鉄道博物館のステンドグラスや東京メトロ副都心線新宿三丁目駅のステンドグラスとモザイク壁画をはじめ、ビル、音楽ホール、レストランなどの壁画も制作している。2002～03年には「山本容子の美術遊園地」展が全国10か所の美術館を巡回。ふくやま美術館と埼玉県立近代美術館で開催された「不思議の国の少女たち—山本容子のワンダーランド」展(2009～10年)は話題を呼んだ。

2005年からは新たなライフワークのひとつとして、絵の持つ癒しの力で患者や医師、看護師たちが心穏やかに過ごせるよう、医療現場での壁画制作「ホスピタル・アート」に取り組むなど、活動の場を広げている。

1995～96年には小説家・辻邦生との共同作品「光の大地」(『毎日新聞』1995年10月～1996年3月連載)、『花のレクイエム』(『挿花』1995年1月～12月連載、原題：「十二の花の物語」)を発表。文学と絵画という2つのジャンルの共鳴が枠組を超えた独特の芸術効果を生み出した。

1978年日本現代版画大賞展西武賞、1980年京都市芸術新人賞、1983年韓国国際版画ビエンナーレ優秀賞、1992年『Lの贈り物』(集英社)で講談社出版文化賞ブックデザイン賞、2007年京都府文化賞功労賞、2011年京都美術文化賞受賞。2013年平成25年度京都市文化功労者。

辻邦生

Kunio Tsuji



1925年東京生まれ。旧制松本高等学校から東京大学文学部仏蘭西文学科・同大学院を経て、1957～61年に渡仏留学。のち、学習院大学でフランス文学を講じる。小説「城」で作家デビュー。以後長篇小説をはじめ、美術・映画・音楽評論など多くの作品を遺した。学習院大学史料館では自筆原稿や創作ノートなど6万点以上の資料を所蔵。主な著作に『廻廊にて』(近代文学賞)、『安土往還記』(芸術選奨新人賞)、『天草の雅歌』、『嵯峨野明月記』、『春の戴冠』、『背教者ユリアヌス』(毎日芸術賞)、『フーシェ革命暦』、『西行花伝』(谷崎潤一郎賞)など。

第98回学習院大学史料館講座  
辻邦生——絵画、そして〈永遠〉  
令和5年(2023)10月29日(日) 13時30分—17時00分(13時開場)  
会場—学習院創立百周年記念会館正堂 「入場無料」  
定員—500名「先着順、事前申し込み不要」

学習院大学史料館  
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1  
電話：03-5992-1173  
JR山手線 目白駅から徒歩5分  
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅から徒歩8分

